



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 日鉄住金物産株式会社  
 コード番号 9810 URL <http://www.nssb.nssmc.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋渡 健治  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 多田 昌功  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5412-5003

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	1,526,811	15.9	23,214	10.5	26,118	22.4	17,477	25.3
29年3月期第3四半期	1,317,111	△9.9	21,005	5.1	21,346	△1.2	13,952	7.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 23,810百万円 (135.0%) 29年3月期第3四半期 10,133百万円 (0.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	565.42	—
29年3月期第3四半期	451.33	—

※当社は、平成28年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	801,865	223,820	25.8
29年3月期	673,078	206,187	28.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 207,096百万円 29年3月期 189,906百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.50	—	105.00	—
30年3月期	—	90.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	90.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成28年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成29年3月期の年間配当金の合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮した場合の前第2四半期末配当金は75円となり、年間配当金の合計は180円となります。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,050,000	11.3	32,500	5.4	34,000	10.0	20,000	9.7	647.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	30,957,800 株	29年3月期	30,957,800 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	47,236 株	29年3月期	45,368 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	30,911,499 株	29年3月期3Q	30,914,121 株

※当社は、平成28年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料については、TDnetで平成30年2月2日に開示し、同日、当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、好調な欧米景気や安定した中国経済を背景に、東南アジアにも回復の動きが広がり、全体として堅調に推移しました。

堅調な世界経済を背景に、日本経済は、個人消費の持ち直し、輸出の増加などによる企業収益の改善や建設・設備投資の拡大に支えられ、緩やかな回復基調を維持しました。

このような経営環境の下、当社グループの連結業績につきましては、売上高は2,096億円、15.9%増収となる1兆5,268億円となりました。営業利益は22億円、10.5%増益となる232億円、経常利益は持分法による投資利益の改善などから47億円、22.4%増益となる261億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は35億円、25.3%増益となる174億円となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

## (鉄鋼)

鉄鋼事業におきましては、鋼材需要は内外とも概ね堅調に推移しました。当社の販売数量は、国内は増加しましたが、輸出は前年同期が高水準であったこともあり減少しました。販売価格は、前年度下期からの鋼材価格の回復を受け、前年同期と比較し国内、輸出とも大きく上昇しました。これらにより、売上高は2,101億円、20.4%増収となる1兆2,386億円となり、経常利益はグループ会社の損益改善もあり、60億円、45.6%増益となる194億円となりました。

## (産機・インフラ)

産機・インフラ事業におきましては、非鉄市況の上昇により、売上高は54億円、8.9%増収となる667億円となりました。経常利益は、持分法適用会社における負ののれん発生益の計上などにより、12億円、73.3%増益となる29億円となりました。

## (繊維)

繊維事業におきましては、厳しい販売環境が継続し、売上高は51億円、4.4%減収となる1,121億円となりました。経常利益は、前年同期にあった円高による原価低減効果の減少や、小ロット・短納期化による利益率の悪化、グループ会社の損益悪化などから、19億円、52.8%減益となる17億円となりました。

## (食糧)

食糧事業におきましては、食肉価格は全体としては安定的に推移し、売上高は前年同期比微減となる1,081億円となりましたが、経常利益は、輸入鶏肉の市況変動などにより利益率が悪化したことから、6億円、24.3%減益となる19億円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、売上債権及びびたな卸資産の増加があり、前期末比1,287億円の増加となる8,018億円となりました。

負債合計は、仕入債務及び借入金の増加があり、前期末比1,111億円の増加となる5,780億円となりました。

純資産合計は、配当金支払いがあったものの、当第3四半期連結累計期間での親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があり、前期末比176億円の増加となる2,238億円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の業績予想につきましては、平成29年11月2日公表の業績予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,690	21,888
受取手形及び売掛金	403,720	492,278
たな卸資産	91,675	115,504
その他	20,375	23,807
貸倒引当金	△1,011	△1,341
流動資産合計	537,450	652,136
固定資産		
有形固定資産	57,783	57,939
無形固定資産		
のれん	91	63
その他	771	709
無形固定資産合計	862	773
投資その他の資産		
その他	80,224	94,174
貸倒引当金	△3,241	△3,159
投資その他の資産合計	76,982	91,015
固定資産合計	135,628	149,728
資産合計	673,078	801,865
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	224,266	247,199
短期借入金	127,883	209,801
未払法人税等	3,324	3,204
引当金	3,791	2,165
その他	26,328	32,554
流動負債合計	385,594	494,925
固定負債		
長期借入金	68,216	67,773
引当金	554	493
退職給付に係る負債	1,891	1,934
その他	10,634	12,918
固定負債合計	81,296	83,119
負債合計	466,891	578,045
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,335	12,335
資本剰余金	50,721	50,755
利益剰余金	115,308	126,758
自己株式	△127	△137
株主資本合計	178,237	189,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,266	13,137
繰延ヘッジ損益	△355	△315
為替換算調整勘定	3,696	4,440
退職給付に係る調整累計額	61	121
その他の包括利益累計額合計	11,668	17,385
非支配株主持分	16,280	16,723
純資産合計	206,187	223,820
負債純資産合計	673,078	801,865

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	1,317,111	1,526,811
売上原価	1,225,105	1,429,967
売上総利益	92,006	96,844
販売費及び一般管理費	71,000	73,629
営業利益	21,005	23,214
営業外収益		
受取利息	266	290
受取配当金	645	1,073
持分法による投資利益	974	2,678
仕入割引	354	416
その他	880	1,316
営業外収益合計	3,122	5,775
営業外費用		
支払利息	1,941	2,375
為替差損	413	—
その他	427	495
営業外費用合計	2,781	2,871
経常利益	21,346	26,118
特別利益		
固定資産売却益	107	170
投資有価証券売却益	230	116
段階取得に係る差益	101	—
負ののれん発生益	41	—
特別利益合計	482	287
特別損失		
減損損失	167	0
投資有価証券売却損	156	19
投資有価証券評価損	87	392
出資金評価損	38	—
持分変動損失	79	—
関係会社整理損	202	—
特別損失合計	732	412
税金等調整前四半期純利益	21,096	25,994
法人税等	6,507	7,695
四半期純利益	14,588	18,298
非支配株主に帰属する四半期純利益	636	820
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,952	17,477

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	14,588	18,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,079	4,840
繰延ヘッジ損益	1,510	38
為替換算調整勘定	△6,936	△312
退職給付に係る調整額	133	60
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,241	886
その他の包括利益合計	△4,454	5,512
四半期包括利益	10,133	23,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,302	23,194
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,168	616

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社は、平成29年9月29日開催の取締役会において、三井物産株式会社及びその関係会社が営む鉄鋼事業の一部の譲受及び資本関係強化を目的として三井物産株式会社に対する第三者割当の方法による新株式の発行を行うことを決議し、同日付で契約を締結致しました。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鉄鋼	産機・ インフラ	繊維	食糧	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,028,491	61,262	117,312	108,859	1,315,925	1,186	1,317,111	—	1,317,111
セグメント間の内部 売上高又は振替高	612	863	3	—	1,479	123	1,603	△1,603	—
計	1,029,104	62,125	117,316	108,859	1,317,405	1,310	1,318,715	△1,603	1,317,111
セグメント利益 (経常利益)	13,341	1,731	3,657	2,518	21,249	88	21,338	8	21,346

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業他を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去8百万円であります。

3. 「報告セグメント」及び「その他」のセグメント利益の合計は、調整額8百万円を除き、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鉄鋼	産機・ インフラ	繊維	食糧	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,238,613	66,744	112,164	108,148	1,525,670	1,140	1,526,811	—	1,526,811
セグメント間の内部 売上高又は振替高	659	758	3	—	1,421	158	1,580	△1,580	—
計	1,239,273	67,502	112,168	108,148	1,527,092	1,299	1,528,391	△1,580	1,526,811
セグメント利益 (経常利益)	19,418	2,999	1,727	1,906	26,052	66	26,118	△0	26,118

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業他を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去△0百万円であります。

3. 「報告セグメント」及び「その他」のセグメント利益の合計は、調整額△0百万円を除き、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。